

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2002-252669(P2002-252669A)

【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)

【出願番号】特願2001-381773(P2001-381773)

【国際特許分類】

H 04 L 29/08 (2006.01)

【F I】

H 04 L 13/00 307 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月22日(2006.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】セントラル端末装置またはリモート端末装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】全二重手順による×D S L通信を行うセントラル端末装置であって、リモート端末装置が前記セントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションの終了に際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後G A L Fを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置。

【請求項2】全二重手順による×D S L通信を行うリモート端末装置であって、前記リモート端末装置がセントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後G A L Fを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置。

【請求項3】全二重手順による×D S L通信を行うセントラル端末装置であって、前記セントラル端末装置がリモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後G A L Fを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置。

【請求項4】全二重手順による×D S L通信を行うリモート端末装置であって、セントラル端末装置が前記リモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後G A L Fを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0025】****【課題を解決するための手段】**

本願発明は、第一に、全二重手順によるXDSL通信を行うセントラル端末装置であって、リモート端末装置が前記セントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションの終了に際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後GALFを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置である。

**【手続補正4】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0026****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0026】**

本願発明は、第二に、全二重手順によるXDSL通信を行うリモート端末装置であって、前記リモート端末装置がセントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後GALFを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置である。

**【手続補正5】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0027****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0027】**

本願発明は、第三に、全二重手順によるXDSL通信を行うセントラル端末装置であって、前記セントラル端末装置がリモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後GALFを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置である。

**【手続補正6】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0028****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0028】**

本願発明は、第四に、全二重手順によるXDSL通信を行うリモート端末装置であって、セントラル端末装置が前記リモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、ACKメッセージを送信し、その後GALFを受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置である。

**【手続補正7】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0029****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正8】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0030****【補正方法】削除**

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】削除

【補正の内容】